

部会名：		全体会・担当者会					
部会長（氏名・所属先）		石田（社会福祉法人 夢21福祉会）		副部会長（氏名・所属先）			
構成機関	相談支援従事者	27	就労支援センター	2	発達障害者支援センター	1	
	障害福祉サービス事業者	86	医療機関	6	教育関係機関	9	
	民間企業	0	高齢者介護の関係機関	1	当事者・当事者団体	2	
	当事者の家族	3	権利擁護関係団体・者	1	大学等	0	
	公共職業安定所	0	保健所・保健センター	0	保育所	0	
	児童相談所	1	身体障害者相談員	0	知的障害者相談員	0	
	民生・児童委員	0	地域住民代表	0	区福祉保健センター	1	
	基幹相談支援センター	1	生活支援センター	1	地域ケアプラザ	8	
	社会福祉協議会	1	その他	6	合計	157	
年間目標	区自支協スローガンである「知る、伝える、繋がる、広げる保土ヶ谷区」の具体的実現に向けて、各現場実践や部会の取り組みを通じて、区域全体の障害福祉の充実、関係機関・関連領域との関係性構築と深化を図ると共に、実効性のある地域生活支援拠点等の制度（仕組み）の構築にもつなげる。						
月	活動内容					会議開催日時	
4月							
5月	（第1回全体会）/場所：保土ヶ谷公会堂 1号会議室 自支協の目標や全体像等の再周知。各部会の前年度報告と今年度計画の共有。収支報告と予算案。自立協HPリニューアルの件。保土ヶ谷区の資源マップの件。被災地障害者センター横浜ほどがやについて。					5月16日 14時～16時半	
6月	（第1回担当者会）/場所：かるがも2階会議室 各部会活動について（現状や展望、気づきや課題、どうしていけるとよりよいかなど）、「保土ヶ谷区地域福祉保健計画 ほっとなまちづくり」ヒアリング					6月4日 14時～16時半	
7月							
8月							
9月							
10月	（第2回全体会）/場所：保土ヶ谷公会堂 1号会議室 各部会中間報告。身近（各現場実践や部会活動等）から気づく課題等の共有。保土ヶ谷区一斉アクションについて。区制100周年事業について。					10月1日 14時～16時	
11月	（第2回担当者会）/場所：かるがも2階会議室 第2回全体会結果の共有とあらためて各部会活動を通して気づけた地域で共通する課題の共有。その上で手立てのアイデア出し、意見交換。区制100周年事業について。					11月5日 14時～16時	
12月	区3機関定例カンファレンスとの協働。アイデア提案や協議					12月11日 9時半～11時半	
1月							
2月							
3月	（第3回担当者会）/場所：保土ヶ谷区役所5階会議室 地域生活支援拠点整備計画等の共有。各部会の今年度報告書と次年度計画書の共有。					3月5日 14時～16時	
連携・協働による課題解決の仕組み	部会でできたこと・やったこと 自立支援協議会をPDCAサイクルで運営し、拠点整備計画とも連動する仕組みが定着しつつある。また担当者会議と3機関定例カンファレンスとの協働機会では各部会だけではなく拠点事業所とも協力・連携することで、拠点整備に向けてより実質的な計画を作成することができた。						
	運営上の課題 ・人材不足による担い手不足。参画事業所の偏りもあり、協力的な事業所ほど負担が多くなってしまふ。 ・拠点整備計画と自立協との連動の仕組みはできたが、実働とその調整をするコーディネーターや全体を把握する役割についてもさらに整理が必要。 ・部会によっては目的の確認・実施概要の変更の検討等が必要な段階。これまでの運営を振り返り、ブラッシュアップ等させていく必要がある。						
シェアしたい取組	全体会・担当者会・各部会プラスα3機関定例CFでのPDCAサイクルによる拠点整備計画を反映させた部会運営と地域の体制づくり。		市域で共有・検討したい課題 地域福祉保健計画と地域生活支援拠点整備計画が連動することが、地域共生社会の実現にも繋がる。個別ケースの課題から世帯の課題、地域の課題とマイクロからメゾ・マクロレベルまでとなると、高齢・障害・こども・困窮などの多職種連携が必須であるが、スムーズな連携については手探り状態。また、地域住民との連携については今後の課題であり、好事例を収集して区域で拡大させていく事が地域づくりに繋がるか。				